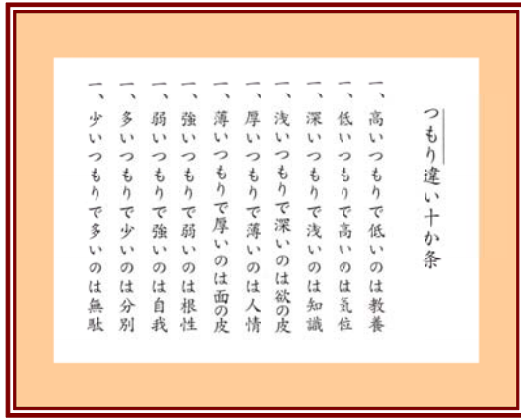


●すてきな言葉を教えて下さった

お客様に…ありがとう

先日、不動産のご相談でお客様のご自宅にお伺いしたときのことです。子供の頃から住んでいらしたというので古く懐かしい土地のお話もたくさん聞かせていただき、不動産の仕事に携わっている者としてはとても参考になるお話



◆おにぎりを持ってきてくれる

お友だちのお父さんにありがとう

私は小学六年生の女の子です。お友だ

しをばかりでした。打ち合わせが終わわり帰り際に、「先日は、メガネ拭きをありがとう。これは私がワープロで打ち直したものですけど、よろしかったらどうぞ」と下さったのが「つもり違い十か条」の言葉でした。それから事務所の机の前に貼って何度も読み返しています。(横浜市/Y・T)

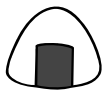
ちといっしょにバスケットボールをやっています。先日、近くの公園で夜まつりがありました。その夜まつりは二日間あって、私は両方とも行ったのですが、初日はバスケットの練習のあとだったので「縁日で食べばいいや」とぼんごはんを食べないで家をでました。ところが食べもの屋さんの前には長い行列ができていて、とても並ぶ気にはなれませんでした。その日は近くなく友人のお父さんとお母さんに近づくのコンビニにつれて行ってもらいました。

次の日も縁日に行きました。またきのうみたいに長い行列ができていたのかと思っていたら、友達



のお父さんがおいしいおにぎりとおかずをもつてきてくれていっしょに食べました。それはそのお夜まつりの時だけではなく、バスケットの試合の時も同じです。私たちの応援やお世話をしてくれる役員さんや私のお父さんやチームメイトのお父さんやお母さんの分までたくさんのおにぎりやお弁当を作ってもつてきてくれます。家に帰ると、試合のときは話しかけたり、おにぎりのこととか、あのおかずがおいしかったとか、ワイワイと家族で楽しく話しています。お父さんが、人は一人だけでは生きていけないと言っていました。いろんな人たちに助けられているから生きられるんだと教えてくれました。

いつも、おいしいおにぎりを持ってきてくれるお友だちのお父さん、ありがとう。そして、私たちが楽しくバスケットができるように応援してくれるたくさんの人たちと鬼コーチに、ありがとうとお礼を言いたいです。(横浜市戸塚区/A・Y 小六)



●お弁当をつくってくれた

乳母に…ありがとう

私は物心ついた時から少年になるまで乳母に育てられました。両親は多忙なので、幼稚園のお弁当はいつも乳母が作ってくれます。朝早くから割烹着を着てお弁当を作る乳母の姿が思い出されます。幼稚園でお弁当の時間になっても私はお弁当を開けられない変な子だったそうです。

それというのは、年配で未婚の乳母が私につくってくれるお弁当は、他の子供たちのお弁当のおかずと比較すると劣るものを感じられたからです。みんなのお弁当には、タコソーセージやハムやキュウリといった色とりどりの具材がならんでいます。自分のお弁当のおかずをみんなに見られたく無かったから、幼稚園ではお弁当を開かず、帰宅するまで空腹をこらえていたのです。

家に帰るなり、乳母に隠れて急いで自分の部屋にはいりガツガツとお弁当をほおばる変な子でした。幼稚園の先生たちも頭をかしげていたようです。でも私は、乳母のお弁当のおかずは大好きでした。特に肉の味噌漬けと、ごま油で焼いた卵焼きでした。私はそれが大好きで今でも私がお弁当を作る機会があると必ずいれています。



サルスベリ(百日紅)は幹がすべすべしているので猿も滑るということで「猿滑」とも書くとか。夏の間100日に亘り次々と咲き続ける。



(東京都目黒区/せのかずき 小二)

てしまいましたが。今どこにおられてご存命なのかすらもわかりませんが、あの時においしいお弁当を作ってくれたり、親代わりで育ててくださったことに、心からありがとうと申し上げたいです。(神奈川県横浜市/L・C)

●おばあちゃん…ありがとう

おばあちゃんへ いつもとまりにいったとき、たくさんあそんでくれて、ありがとう。こうえんで、ブランコやシーソーでたくさんあそんでくれてありがとう。ぼくはおばあちゃんがだいすきです。これからもげん気ですが生きさせてください。

●怪我をしたとき電車で席を譲って下さった女性へありがとう

先日私は、自分の不注意で自宅の階段で足を踏み外し足をひどく捻挫してしまいました。

次の日は、どうしても会社に出勤しなければならぬ用事があり、痛い足をかばうために慣れない松葉杖をついて通勤電車に乗りました。

その日も通勤電車は混雑しており、松葉杖の私にはバランスを取って立っているのは容易な事ではありませんでした。どこかに空いた席はないかと周囲を見わたしましたが、座っている人は下を向いたり本を読んだりして誰も気が付いてくれませんでした。

私が降りる駅が近づいたころ、ひとりの女性が立って席を譲ってくださいました。でも、私は次の駅で降りるのでその事情をお話ししてお断りしてしまいました。

電車から降りたあとで思いました。



「あの女性は、私に席を譲ってくださいなのに勇気が要っただろうな。ありがとういな。断って申し訳なかったかな。」と感じながら、そして今更ながら、他人に親切にすることの難しさに気が付きました。

五体満足に生んでくれた両親に感謝しつつ、松葉杖を不器用に使用して駅の階段をおりながら、席を譲ってくれた女性に「ありがとう」とつぶやきました。

(目黒区中央町/S・Oさん)

●英国のカレーのおじさんにありがとう

私は今から三七年程前の中学一年の時に英国の田舎町に留学しておりまして。

小学校高学年の時、母が父と離婚した後、著名な外国人と再婚しました。

生活は裕福で何一つ経済的に不自由はなかったものの、私の心は満たされず、常に母に不満があり反発していました。

再婚相手の手前もあり、母も悩みぬいて私を外国に送り出したのだと思います。私の通う英語学校の生徒の大半が大人で、少年の私には親しくできる友人もあまり出来ませんでした。

精一杯背伸びをしていて、素直さのない生意気なひねくれた少年の私は、タバコを吸い大人ぶってパブでビールをあおるような生活をしていました。

下宿は英国人のホストファミリーにお世話になっていました。英国のホストファミリーでの週末の食事はクッキーなどのお菓子だけで、夕食は自分でなんとかしないとイケないという育ち盛りの自分には空腹がつかつたものです。

私がタバコをふかしてフィッシュ&チップスでも食べようと道をおいでしていると必ず車から声をかけてくれるおじさんがいました。「どうした？一緒に乗っていいかないか？今から店に帰るんだよ。」と車道から声をかけてくださったのです。

おじさんのワーゲンに乗せて貰い、そのおじさんの店へ行きます。おじさんは中国人で横浜にも住んでいたことがある中華料理屋さんのご主人です。私と同年代の息子さんと娘さんが居て家族四人とても幸せそうでした。

そしておじさんは「今日は日本式のカレーをつくってみよう。食べなさい。」とごちそうしてくれるのです。おいしいとは感じててもその時は感謝などしていませんでした。

ある日こういう事もありました。私の通う学校に日本の企業から派遣された大人の男性がいました。私と同年代のおじさんが居るそのおじさんはいつもしつこく私に話しかけてきます。「うるさいな！うるさいんだよ！！か

まわなくてくれよ！！」私はおじさんに八つ当たりしました。するとおじさんは「おまえはどうしてそんなにひねくれてるんだ。表に出ろ！！俺が根性をたたき直してやる！！」私はふてくされながら園庭の芝生に行くとおじさんは「そんな態度ができる根性があるならおれにかかってこい！！」

私は飛びかかっていきますが見事にかわされ柔道の心得があるその方は最後には背負い投げで私を投げ飛ばしました。脳しんとうをおこしそうな痛みの中、私は悔しさと情けなさがかみ上げて来て泣きました。その方はやさしい笑顔で私を見守ってくれた記憶があります。

その後、日本に帰り、月日がたち私は結婚もして子供も出来ました。今ではとても幸せな生活をおくっております。

先日インターネットGoogle earthの航空地図で英国のその町をみていてその地図の慣れ親しみのある道路のところに「THE'S CAFE」という広告があるのを発見しました。

クリックすると昔のそのお店が写真ででてきました。メールをしてみると今では息子さんがお店のオーナーで父さんは数年前に他界されたこと知りました。

私の目に涙があふれてきました。私は色んな方と出会って生かされてきたんだということ、今更ながらしみじみと感じ、英国という慣れない異国の地で親身になって見守ってしてくれた、「カレーのおじさん」

ありがとう、ございました。そして粹がっていた私を投げ飛ばして気づきをくれた「柔道のおじさん」にありがとう、ございました。



(東京都 港区 K・K)

【携帯 Deショット】

白山通りの東京都交通局の前に直径30cmのアメリカフヨウ(ハイビスカス科)の花が咲いています。でも、1日で萎んでしまうのは残念です。



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せていただいた「ありがとう」の出来、短文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿は、ささやかではございますが、オリジナル「ありがとうマガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。ご提案がございましたら是非お聞かせください。



●携

携帯電話の方はQRコードから→→  
●パソコンの方は下記のURLから↓  
<http://1039.seesaa.net/>  
●メールでのご投稿は…  
[info@holonics.gr.jp](mailto:info@holonics.gr.jp)  
【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部

